

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第30期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社アルゴグラフィックス
【英訳名】	ARGO GRAPHICS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 会長執行役員（CEO） 藤澤 義 磨
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2037
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 管理統括部長 井 潟 博 彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2037
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 管理統括部長 井 潟 博 彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期 連結累計期間	第30期 第2四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (第2四半期連結会計期間) (千円)	15,655,273 (8,014,165)	15,100,864 (7,539,052)	29,996,271
経常利益 (千円)	1,133,985	1,089,927	2,235,627
四半期(当期)純利益 (第2四半期連結会計期間) (千円)	718,249 (426,709)	660,082 (369,715)	1,272,160
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	734,262	1,124,394	1,914,121
純資産額 (千円)	15,531,242	17,598,658	16,791,326
総資産額 (千円)	23,616,918	24,593,897	25,222,435
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (第2四半期連結会計期間) (円)	72.16 (42.87)	65.22 (36.32)	127.70
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	72.13	64.36	127.36
自己資本比率 (%)	60.3	66.3	61.4
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	1,340,184	75,025	2,434,647
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	48,732	1,269,864	697,869
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	305,605	311,530	420,157
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	8,380,941	6,987,861	8,643,667

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策による為替水準の是正や経済対策への期待感などから、企業業績や消費マインドに明るさが見られました。一方、円安に伴う物価上昇やエネルギー価格の高騰、また、中国経済の低迷や新興国の成長減速などの懸念材料がある中で、我が国の財政の立て直しを事由に消費増税が表明され、経済の先行きについて非常に不透明な状況となっております。

このような環境において、当社はグループを挙げてお客様との関係強化や取引の深耕を図っております。グローバル化・環境・安心安全をキーワードとし、お客様の事業展開に合わせたデータベース利用技術の開発、予測のための解析や科学技術計算といったより高度な技術力を要求される分野でのシステム構築など、多種多様なニーズにきめ細やかに対応してまいりました。また、専門的な製品・業務知識が求められる中、それに応えうる組織及びグループ体制の構築を進めながら、社員のスキル向上にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期の大型案件の反動があったほか、案件の期ずれ等が影響し、売上高が15,100百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。営業利益につきましては、全般的に安定した利益率を確保できたこと、また、コスト抑制も継続して実行したことから、1,025百万円（同1.5%増）となりました。一方、海外持分法適用会社の苦戦により経常利益は1,089百万円（同3.9%減）、少数株主利益の増大により四半期純利益が660百万円（同8.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、当社の主要取引先である自動車メーカー向けの販売は順調な伸びを示したものの、前年同期の大型案件の反動及び上期に予定していた案件の下期への期ずれなどの影響が見られました。その結果、外部顧客への売上高が14,419百万円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益は988百万円（同8.8%減）となりました。

連結子会社である㈱ジーダットが中心となって行うEDA事業につきましては、パワー半導体、イメージセンサ、タッチパネル、高精細FPD等向けの設計支援・解析ツールを軸とした営業活動が好調だったことに加え、自動車業界向けを中心としたソリューション・ビジネスが順調な立ち上がりとなりました。更に、海外市場でも積極的な展開を行いました。その結果、外部顧客への売上高が681百万円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント利益は37百万円（前年同四半期はセグメント損失74百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ628百万円減少し、24,593百万円となりました。

（資産）

流動資産は、現金及び預金が1,715百万円減少、受取手形及び売掛金が986百万円減少、商品が338百万円増加、仕掛品が33百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比2,318百万円減の14,594百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が11百万円減少、無形固定資産が22百万円増加、投資その他の資産のうち、投資有価証券が1,862百万円増加、その他が184百万円減少したことにより、前連結会計年度末比1,689百万円増の9,999百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金が1,156百万円減少、未払法人税等が144百万円減少、賞与引当金が46百万円減少、役員賞与引当金が25百万円減少、その他が96百万円減少したことにより、前連結会計年度末比1,468百万円減の5,546百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が74百万円増加、その他が41百万円減少し、前連結会計年度末比32百万円増の1,448百万円となりました。

(純資産)

純資産は、資本金及び資本剰余金がそれぞれ116百万円増加、利益剰余金が158百万円増加、その他有価証券評価差額金が419百万円増加、少数株主持分が20百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比807百万円増の17,598百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により使用した資金75百万円、投資活動により使用した資金1,269百万円、財務活動により使用した資金311百万円等を加味した結果、前連結会計年度末に比べ1,655百万円減少(19.2%減)し、6,987百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、75百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,089百万円、減価償却費54百万円、退職給付引当金の増加額74百万円、売上債権の減少額962百万円、前受金の増加額147百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額46百万円、長期未払金の減少額28百万円、前渡金の増加額43百万円、たな卸資産の増加額369百万円、仕入債務の減少額1,134百万円、未払消費税等の減少額99百万円、その他流動負債の減少額113百万円、法人税等の支払額530百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,269百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,040百万円、投資有価証券の売却による収入27百万円、関係会社株式の売却による収入43百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出980百万円、有形固定資産の取得による支出61百万円、無形固定資産の取得による支出34百万円、投資有価証券の取得による支出1,289百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、311百万円となりました。

収入の主な内訳は、少数株主からの払込みによる収入22百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入191百万円であり、支出は配当金の支払額503百万円、少数株主への配当金の支払額21百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、168百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,720,000
計	42,720,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,704,100	10,711,800	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	10,704,100	10,711,800	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日(注)1	116,900	10,704,100	83,127	1,505,298	83,127	1,612,698

(注) 1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 平成25年10月1日から平成25年10月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が7,700株、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,373千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
S C S K(株)	東京都江東区豊洲3 - 2 - 20	2,370,000	22.14
(株)アルゴグラフィックス(注)1	東京都中央区日本橋箱崎町5 - 14	500,250	4.67
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1)	500,000	4.67
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)(注)2	東京都中央区晴海1 - 8 - 11	448,100	4.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区月島4 - 16 - 13)	315,700	2.94
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERS HIP LP (常任代理人 香港上海銀行東京支店カスタディ業務部)	8 CANADA SQUARE, LONDON E14 5HQ (東京都中央区日本橋3 - 11 - 1)	296,000	2.76
藤澤 義麿	神奈川県大和市	294,500	2.75
(株)電通国際情報サービス	東京都港区港南2 - 17 - 1	266,000	2.48
堀田 勝正	東京都世田谷区	210,000	1.96
(株)タムロン	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385	180,000	1.68
(株)みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1 - 3 - 3	180,000	1.68
計	-	5,560,550	51.94

(注) 1. 当社自己株式であります。

2. 上記日本トラスティ・サービス信託銀行(株)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は366,500株であります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,202,100	102,021	-
単元未満株式	普通株式 1,800	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,704,100	-	-
総株主の議決権	-	102,021	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)アルゴグラフィックス	東京都中央区日本橋 箱崎町5-14	500,200	-	500,200	4.67
計	-	500,200	-	500,200	4.67

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第3項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,683,667	7,967,861
受取手形及び売掛金	6,285,695	5,298,802
商品	243,949	582,134
仕掛品	39,121	72,468
原材料及び貯蔵品	8,117	6,191
その他	651,885	666,946
流動資産合計	16,912,437	14,594,404
固定資産		
有形固定資産	261,401	249,746
無形固定資産	57,880	80,608
投資その他の資産		
投資有価証券	4,502,473	6,365,369
長期預金	² 2,700,000	² 2,700,000
その他	788,242	603,768
投資その他の資産合計	7,990,715	9,669,138
固定資産合計	8,309,997	9,999,492
資産合計	25,222,435	24,593,897
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,277,732	3,121,664
未払法人税等	501,541	356,798
賞与引当金	463,808	417,762
役員賞与引当金	50,000	25,000
その他	1,722,263	1,625,724
流動負債合計	7,015,346	5,546,949
固定負債		
退職給付引当金	1,156,551	1,230,969
その他	259,211	217,319
固定負債合計	1,415,763	1,448,289
負債合計	8,431,109	6,995,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,859	1,505,298
資本剰余金	1,496,259	1,612,698
利益剰余金	12,455,895	12,614,255
自己株式	598,333	598,333
株主資本合計	14,742,679	15,133,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	740,768	1,160,291
為替換算調整勘定	1,705	20,430
その他の包括利益累計額合計	742,473	1,180,722
新株予約権	218,925	176,112
少数株主持分	1,087,247	1,107,905
純資産合計	16,791,326	17,598,658
負債純資産合計	25,222,435	24,593,897

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	15,655,273	15,100,864
売上原価	12,249,294	11,735,123
売上総利益	3,405,979	3,365,740
販売費及び一般管理費合計	¹ 2,395,563	¹ 2,339,765
営業利益	1,010,415	1,025,975
営業外収益		
受取利息	26,778	34,216
受取配当金	22,999	25,397
補助金収入	46,851	13,394
その他	29,408	7,334
営業外収益合計	126,037	80,343
営業外費用		
支払利息	588	-
減価償却費	1,209	-
持分法による投資損失	-	5,085
為替差損	-	6,120
その他	669	5,184
営業外費用合計	2,467	16,391
経常利益	1,133,985	1,089,927
税金等調整前四半期純利益	1,133,985	1,089,927
法人税、住民税及び事業税	421,067	386,983
法人税等調整額	5,982	20,359
法人税等合計	427,049	407,342
少数株主損益調整前四半期純利益	706,935	682,585
少数株主利益又は少数株主損失 ()	11,313	22,502
四半期純利益	718,249	660,082

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	706,935	682,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,466	419,523
為替換算調整勘定	166	6,865
持分法適用会社に対する持分相当額	1,694	15,420
その他の包括利益合計	27,326	441,809
四半期包括利益	734,262	1,124,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	745,781	1,098,426
少数株主に係る四半期包括利益	11,518	25,967

【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,014,165	7,539,052
売上原価	6,208,775	5,851,850
売上総利益	1,805,390	1,687,202
販売費及び一般管理費合計	¹ 1,186,956	¹ 1,161,225
営業利益	618,434	525,977
営業外収益		
受取利息	12,859	16,154
持分法による投資利益	9,396	20,521
補助金収入	27,344	13,394
その他	9,634	9,476
営業外収益合計	59,235	59,546
営業外費用		
支払利息	588	-
減価償却費	647	-
固定資産売却損	310	-
為替差損	-	693
その他	1	1,679
営業外費用合計	1,547	2,372
経常利益	676,121	583,151
税金等調整前四半期純利益	676,121	583,151
法人税、住民税及び事業税	216,981	144,454
法人税等調整額	28,782	51,210
法人税等合計	245,764	195,664
少数株主損益調整前四半期純利益	430,357	387,487
少数株主利益	3,648	17,771
四半期純利益	426,709	369,715

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	430,357	387,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176,531	314,003
為替換算調整勘定	6,911	1,088
持分法適用会社に対する持分相当額	4,266	6,454
その他の包括利益合計	173,886	321,547
四半期包括利益	604,243	709,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	603,466	690,310
少数株主に係る四半期包括利益	776	18,723

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,133,985	1,089,927
減価償却費	51,795	54,547
賞与引当金の増減額(は減少)	45,298	46,045
役員賞与引当金の増減額(は減少)	25,000	25,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	55,290	74,418
長期未払金の増減額(は減少)	-	28,714
受取利息及び受取配当金	49,777	59,613
持分法による投資損益(は益)	22,283	5,085
売上債権の増減額(は増加)	206,022	962,278
たな卸資産の増減額(は増加)	676,090	369,604
前渡金の増減額(は増加)	32,885	43,077
その他の流動資産の増減額(は増加)	19,039	24,595
仕入債務の増減額(は減少)	20,437	1,134,339
前受金の増減額(は減少)	228,246	147,980
未払消費税等の増減額(は減少)	25,804	99,762
その他の流動負債の増減額(は減少)	8,250	113,305
その他	46,938	9,605
小計	1,895,802	399,783
利息及び配当金の受取額	48,207	55,676
利息の支払額	588	-
法人税等の支払額	603,237	530,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,340,184	75,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,040,000	980,000
定期預金の払戻による収入	1,040,000	1,040,000
有価証券の償還による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	46,837	61,012
無形固定資産の取得による支出	276	34,037
投資有価証券の取得による支出	-	1,289,541
投資有価証券の売却による収入	-	27,869
関係会社株式の売却による収入	-	43,400
その他	4,153	16,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,732	1,269,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	-
少数株主からの払込みによる収入	-	22,397
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	191,197
配当金の支払額	498,427	503,799
少数株主への配当金の支払額	7,177	21,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	305,605	311,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	141	614
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,083,454	1,655,805
現金及び現金同等物の期首残高	7,297,487	8,643,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 8,380,941	¹ 6,987,861

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

関連会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
D&A Technology Co.,Ltd	105,896千円	111,180千円

2 期限前解約権を銀行のみが保有しており、当社から解約を行う場合、取引銀行所定の解約精算金を支払う必要があります。これにより預金元本を毀損する可能性があるものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
長期預金	2,700,000千円	2,700,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	986,668千円	957,491千円
賞与引当金繰入額	227,401 "	248,400 "
退職給付費用	53,553 "	67,024 "
役員賞与引当金繰入額	25,000 "	25,000 "

1 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	489,819千円	484,833千円
賞与引当金繰入額	110,544 "	124,084 "
退職給付費用	26,588 "	33,367 "
役員賞与引当金繰入額	12,500 "	12,500 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	9,420,941千円	7,967,861千円
預入期間が3か月超の定期預金	1,040,000 "	980,000 "
現金及び現金同等物	8,380,941 "	6,987,861 "

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	497,692	50	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月20日 定時株主総会	普通株式	501,722	50	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月21日 取締役会	普通株式	306,115	30	平成25年9月30日	平成25年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,081,282	573,991	15,655,273	-	15,655,273
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,020	660	3,680	3,680	-
計	15,084,303	574,651	15,658,954	3,680	15,655,273
セグメント利益又は損失 ()	1,084,478	74,063	1,010,415	-	1,010,415

(注)セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,419,002	681,861	15,100,864	-	15,100,864
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,686	27,736	29,422	29,422	-
計	14,420,688	709,598	15,130,286	29,422	15,100,864
セグメント利益	988,535	37,439	1,025,975	-	1,025,975

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

前第2四半期連結会計期間（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 （注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,723,837	290,328	8,014,165	-	8,014,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,532	-	1,532	1,532	-
計	7,725,370	290,328	8,015,698	1,532	8,014,165
セグメント利益又は損失 （ ）	638,782	20,348	618,434	-	618,434

（注）セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 （注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,189,568	349,483	7,539,052	-	7,539,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,382	21,178	22,560	22,560	-
計	7,190,951	370,661	7,561,612	22,560	7,539,052
セグメント利益	503,405	22,572	525,977	-	525,977

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	72円16銭	65円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	718,249	660,082
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	718,249	660,082
普通株式の期中平均株式数(株)	9,953,850	10,121,149
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	72円13銭	64円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	3,244	134,340
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	42円87銭	36円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	426,709	369,715
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	426,709	369,715
普通株式の期中平均株式数(株)	9,953,850	10,178,084
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	35円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	152,832
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第2四半期連結会計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成25年10月21日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....306百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....30円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月4日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社アルゴグラフィックス

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 沼田 敦 士 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三井 勇 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルゴグラフィックスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルゴグラフィックス及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。